

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社ポテトデリカ)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目												
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、育児、福利厚生施設の利用などをあらゆる条件で差別のない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している。(委員会活動、相談窓口の設置、意見交換会の実施)				5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3				16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメント禁止の内容を就業規則、規程類に明記 勉強会の実施、相談窓口を設置している。				5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・長時間労働是正のための改善活動、時間管理、勤務体制の整備や短期増員対応などを行っている。							8.5 8.8						
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・差別や人権侵害の無いようにハラスメントやモラルについて 勉強会の実施、相談窓口を設置している。			4.4			8.7 8.8		10.2 10.3					
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・安全衛生委員会活動、ヒヤリハット活動などを通じて改善活動を行っている。グループの安全基準に即した監査や整備を実施している		3					8						
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・メンタルヘルスに関する方針と計画を策定し、ストレスチェックと希望者への面談体制など構築をしている。		3											
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・多様な人材活用を実施しており、女性、外国籍、高齢者の比率が高く、機械化、説明資料や周知の工夫など働きやすい職場整備を進める。			5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・社員教育体制を構築している。 勤続年数別にカリキュラムを設けてWEB研修やグループ研修活用などにより計画的に教育研修の機会がある。			4	5.5		8	9						
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・同一労働同一賃金の原則に即し、パート労働法や法改正内容に対応した就業規則の整備を進めている。				5.5		8.5		10.2 10.3					
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・社内で「健康宣言」などの健康促進活動を実施。 健康診断や追加健診支援をPRし健康促進を行っている。 インフルエンザ予防のための集団接種も実施している		3					8						
	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物の種類・量など現状を集計した実績を整備している 削減のための計画目標を策定している。									11.6	12.4	14.1		
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・環境数値把握のソフトを導入し省エネ対策、計画目標数値を策定している。					7.3				13				
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・環境数値把握のソフトを導入し省エネ対策、計画目標数値を策定している。				7.2 7.3				12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	【非該当】		・有害化学物質の取り扱いは無し。			3.9		6.3				11.6	12.4			

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記入)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本		【予定】	・【予定】事業全体における生物多様性への依存と影響を把握し、負の影響を削減するための計画を策定する。																	15	
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・工場の資源利用の削減、再利用を推進している。原料の残渣を飼料化し養豚場に飼料として活用など取り組みを実施。															12.5	14.1		
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・自社の水源を含む水利用状況を把握し、使用量削減の計画を策定する。(2022年度策定、継続実施中)									6.4 6.6									
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ											3.9		6	7				12	13.3	14	15
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・キユーピーグループの環境白書にてグループとして開示している。															12.6			
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・中部電力より安曇野電気(水力発電)を購入									7.2						13			
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ																		12.2	13	14	15
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範及び運用上の基準を整備し社内周知を実施。																	16 16.5	
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・不正競争行為を含む行動規範の整備と関係部署へ研修を実施。																		16
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・グループを通じて特許・商標等知的財産権の取得・管理を行っている。									8.2 8.3	9								
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・「個人情報保護基本規程」など社内規程を作成し体制を整備している。 ・情報管理の基本ルールを定期学習を行い周知している。																		16
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・自社製品の原材料、サプライチェーンを把握し、限定原料については保証確認を行っている。																		16
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			サプライヤー、事業パートナーと信頼関係を構築し、維持し続ける取り組み。 产地訪問や収穫研修、新規原料の購入時の会社訪問等							5		8	10		12	13	14	15	16	17	
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	2025年2月末日までにパートナーシップ構築宣言を作成・公表する			3						8	9	10							17

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・FSSC22000認定を取得し、製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。				3.9										12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している。 ・FSSC22000認定企業として定期更新審査を行っている											9								
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・使用包材や紙は環境に配慮した段ボールや用紙を購入						6							12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			・特定の社会課題解決をテーマとした製品開発を推進している。(高齢化・簡便性・日持ち商品開発)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・所在地区の住民の皆様と環境視察会・意見交換会を実施 方針や取組みを説明している。				4						9		11	12		14	15	17		
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・地区の緑地清掃活動に参加している ・地域更生施設の実習生の受入活動 ・地域活動への協賛、安曇野市イベントやこども食堂に商品提供				4							11		14	15		17			
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			・地元の農産物を使用した商品開発を行っている。									8	9		11	12	13					
組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・経営理念を明文化している。 ・会社方針、年度目標を発表し各課、各個人の課題目標につながる経営を行い進捗管理も実施。									8	9							17		
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・委員会活動や社内掲示板で法令順守の重要性を社内に発信している。 ・研修や勉強会を実施している。																	16		
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			・専門部署を設けて対応を行っている。																		16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本			・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動の影響を把握し、具体的な内容に努めている。																	16	17	
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・委員会活動によりリスクマネジメントを行い、リスクの洗い出しと評価を行ったうえで対策を講じている。																		16	
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			・グループと準じたCSR方針の策定、活動目標を定めている。																		16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			事業継続計画は有り											9		11		13	13.1		16	
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ														8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
女性が多く活躍する企業として社内外にPRする体制を構築する。	【予定】2025年までに新たな認定を取得する。																	

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸收評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定